

# 「イソベっちの、前へ前へポップー！」

2011年4月10日(日曜) ゲスト:佐藤茂雄さん(大阪商工会議所会頭)

記念すべき第一回の「のびのびさん」は、大阪商工会議所の会頭でもあり、京阪電気鉄道の最高経営責任者である佐藤茂雄さんです。

## Q. 大商（だいしょう）って何？

明治11年（1878年）に、大阪を元気にしよう、大きな商いの町にしようということから設立されました。現在、約3万の会員がおり、朝日放送、吉本興業も加入しています。本部は大阪・中央区に、支部は大阪市内に10カ所あります。

## Q. 大商として今、一番力を入れていることは？

「千客万来都市OSAKAプラン」をつくり、大阪府・大阪市も参加して、みんなで大阪を盛り上げようとしています。5つあるプロジェクトの中でも力を入れているのが観光都市・大阪を目指す「インバウンド」の取り組み。海外から大阪への集客をはかるため、大阪城、通天閣だけでなく、水辺の整備をして水都・大阪としてアピールしています。

## Q. 最近、何もかもが東京中心になっているが…

東日本大震災後の“自粛”は、悲しみをともにするという日本人のすばらしい点ですが、日本全体が元気になっていかないといけないと思います。メディアは大阪の元気のよさを東京にも伝えていくべきです。

## Q. これだけは外せないということは？

本を読むこと。読書することで知恵を得ることができます。若い頃は体育会系でしたが、入社して読みはじめました。相当の量を読んでいて、今はiPadに入れて読んでいます。好きなジャンルは様々ですが、古典をよく読みます。

## Q. 大切にしている言葉「のびのびワード」を教えてください。

「霧襖 進めば 少しずつ開く」（俳人・西宮舞）

大震災、デフレ不況…。困難な状況こそ、突破力が必要です。先が見えなくても、立ちすくまず、とにかく前に進む、そうすれば少しずつではあるが必ず開けてくるのだという意味を、この俳句から感じ取っています。

ありがとうございました。